



谷原中学校
保健室No.22
24. 11. 20

ついに練馬区にもきました・・・

感染性胃腸炎、流行の兆し！



練馬区内の小学校4校5クラスで感染性胃腸炎での学級閉鎖が発生しています。毎年、11月から2月にかけてノロウイルス等による感染性胃腸炎が流行するので、東京都福祉保健局でも注意するようにと連絡がありました。

感染性胃腸炎は、治療薬はないので、

予防することがとても大切です！

おう吐物処理方法

お家でも、手袋、マスク、新聞紙、ゴミ袋、塩素系の消毒薬(漂泊できるもの)雑巾などをバケツに入れて置いておくと便利です。

学校でも各教室にマスクとペーパーなど、4か所に消毒薬などのおう吐物処理セットを置いています。

① 誰かが吐いた時、処理をする人以外は近寄らないようにします。



② 窓を開けて換気をし、処理をする人はマスク、手袋、エプロンをして準備します。一番最初に窓を開け、マスクをすることを勧めます！



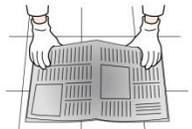
③ おう吐物に新聞紙などすぐにかぶせておくと良いです。新聞紙で広がらないようにおう吐物をとります。



④ バケツなどに消毒薬を作ります。消毒薬の表示に従ってください。ゴミ袋にまとめたおう吐物の中にも消毒薬を入れ捨てます。



⑤ 消毒薬でひたした雑巾などでおう吐物があったところよりも広めに拭きます。拭いたぞうきはすぐゴミ袋へ。消毒薬にひたした新聞紙を床に広げ30分そのまま消毒します。



処理した人は手洗いうがいを忘れずに！



予防1 一番効果がある「手洗い」

学校では、トイレで吐いた人がいた時、消毒をします。消毒するところは、便器だけではなく、トイレの流すレバー、個室のドアの取っ手、大きいドアの取っ手、手洗い場の蛇口、トイレから出る床に消毒薬で浸した雑巾を置くなどです。手や足でウイルスがいろいろな所に運ばれ感染がひろがる可能性があるからです。

自分がトイレに入った後、食事の前、外から帰ってきた後は、必ずせっけん流水で手を洗いましょう。

残念ながら、ノロウイルスは、アルコールジェルのような簡単に手洗いできるものでは完全に死滅しません。何も無い時にはインフルエンザウイルスには効果があるので使用してもよいですが、それで手が完全にきれいになったと勘違いしないでくださいね！

石けん、流水で手を洗う。石けんがない時は、20秒間流水で洗うようにしましょう。ハンカチ、タオルはきれいなもので！毎日洗たくをしたものが良いです！



最後に、おう吐物、新聞紙、手袋など全部まとめてゴミ袋に入れて消毒薬をひたし、ビニールは2枚重ねにして結びます。まとめたゴミは、なるべく屋外に置いておくといいです。

おう吐物がついた物が、カーペットや洋服など、消毒薬で漂白してしまうと困る場合は、85度で1分間熱湯消毒、又は高温でアイロンするなどしましょう。